

水と油と高分子のスペシャリストとして社会の発展に貢献する

第55期決算説明会

(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

株式会社 **MORESCO**

MORESCO Corporation

<http://www.moresco.co.jp/>

東証一部 5018 (石油・石炭製品)

2013年4月

1

株式会社 MORESCO

MORESCO Corporation

神戸市中央区港島南町5丁目5番3号

設立	1958年10月（昭和33年）
代表者	代表取締役会長 中野正徳 代表取締役社長 赤田民生
従業員数	276人[単体]、542人[連結] （2013年2月末日）
資本金	1,526百万円
事業内容	特殊潤滑油、素材、ホットメルト接着剤などの 化学品の開発・製造・販売
売上高	19,987百万円（2013年2月期：連結）
経常利益	1,169百万円（2013年2月期：連結）

MORESCOグループの国内外拠点

中国

無錫松村貿易有限公司
莫莱斯柯花野圧鑄塗料(上海)有限公司
無錫德松科技有限公司(持分法適用会社)



北米

MORESCO USA Inc.



日本国内の主要子会社
株式会社マツケン
株式会社モレスコテクノ
エチレンケミカル株式会社

東南アジア

MORESCO(Thailand)Co., Ltd.
PT.MORESCO INDONESIA
PT.MORESCO MACRO ADHESIVE

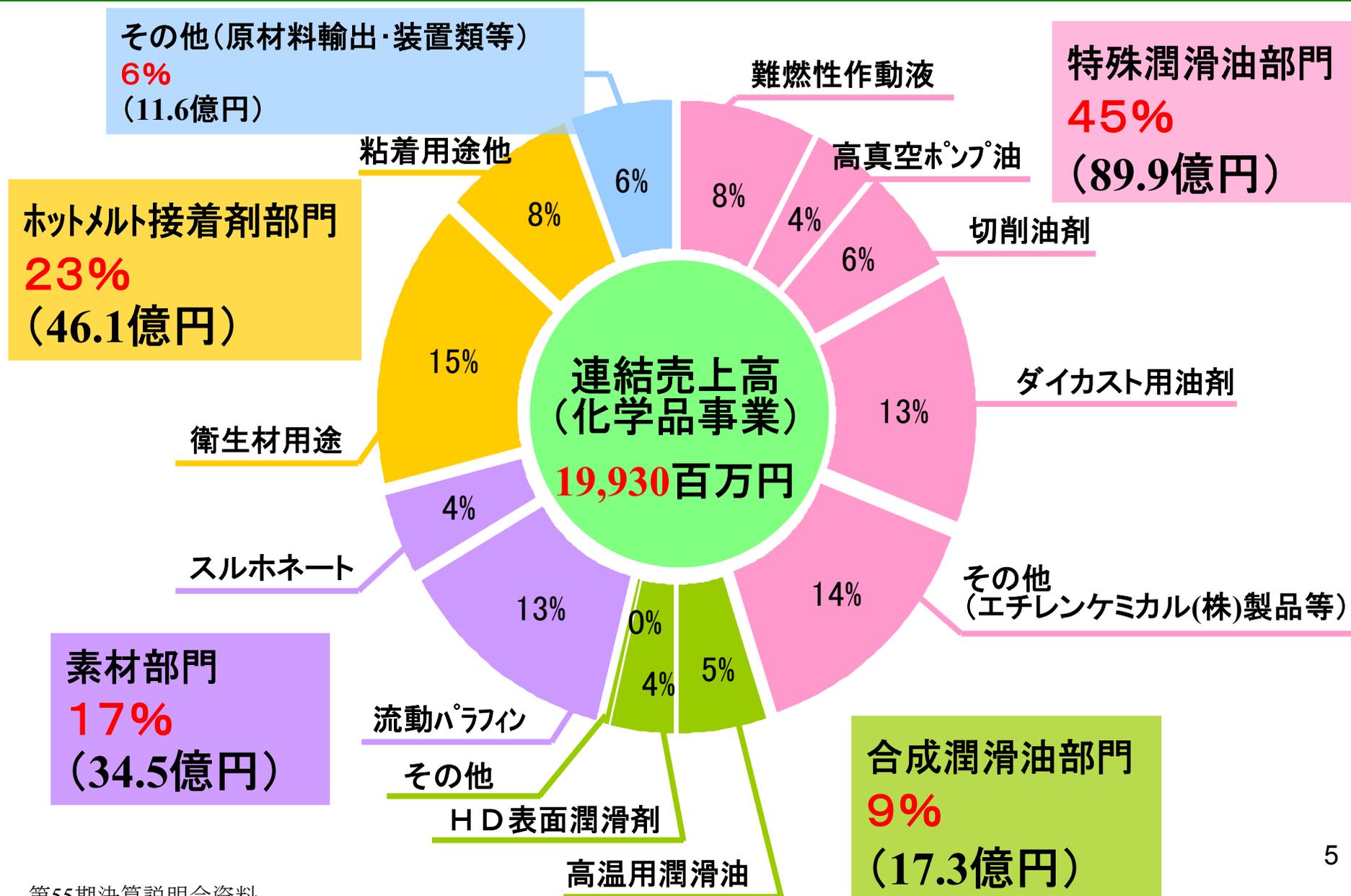


事業内容

売上比率(13年2月期)

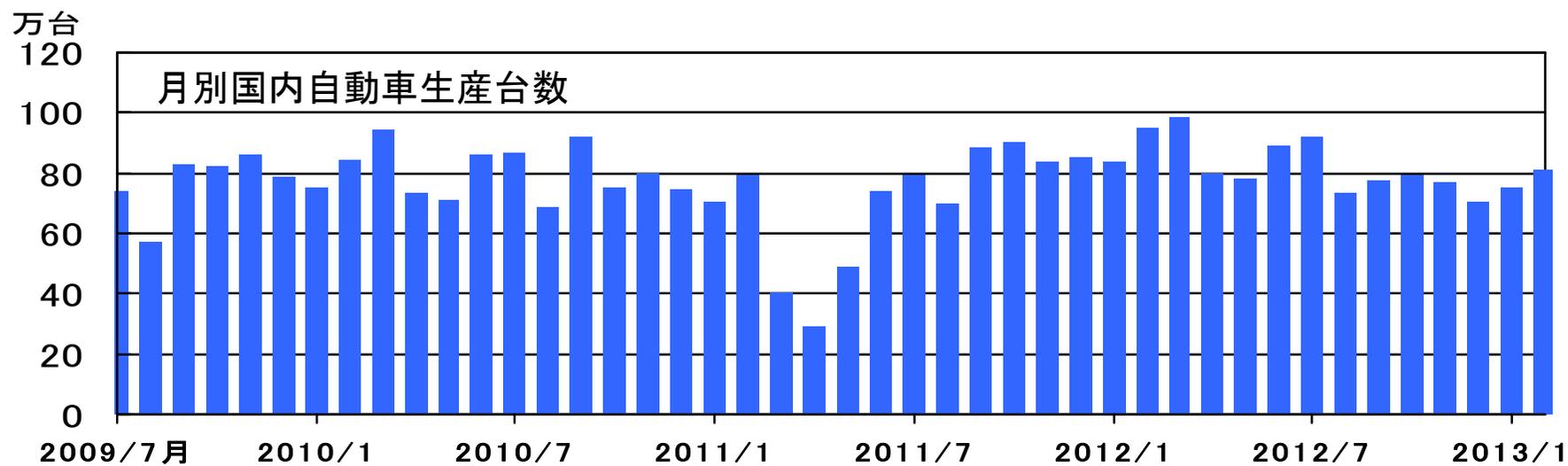
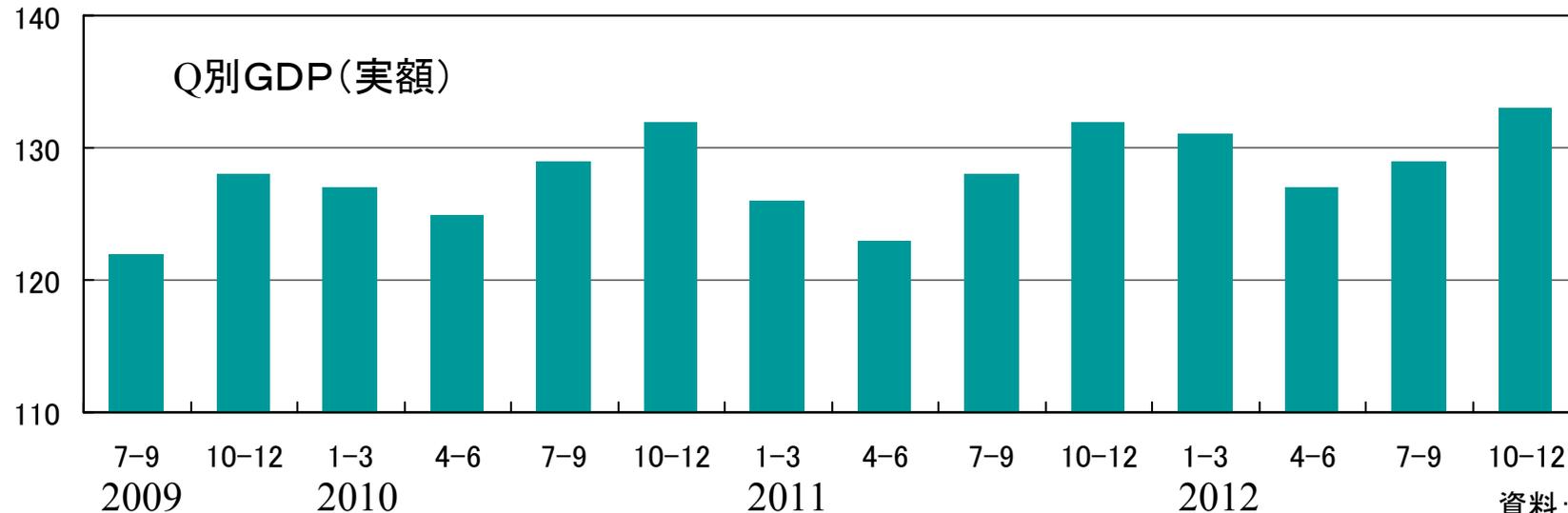
化学品 事業	特殊潤滑油部門	自動車、鉄鋼産業等向けの 特殊潤滑油	45%
	合成潤滑油部門	自動車用高温グリス原料、 ハードディスク表面潤滑剤	9%
	素材部門	化粧品・ポリスチレンの原料油、 LiB膜生産用、他	17%
	ホットメルト接着剤部門	紙おむつ等の衛生材、ラベ ル・自動車向け等の接着剤	23%
関連 事業	廃水処理装置・処理薬剤等の販売 (株式会社マツケン)		6%
	分析試験 (株式会社モレスコテクノ)		
賃貸ビル事業	モレスコ本町ビル(大阪府中央区備後町)		0.3%

化学品事業の売上高構成 (平成25年2月期)



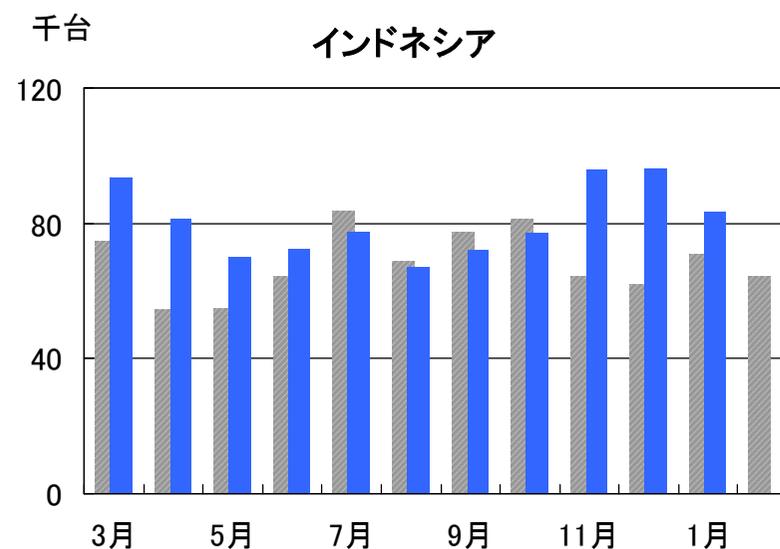
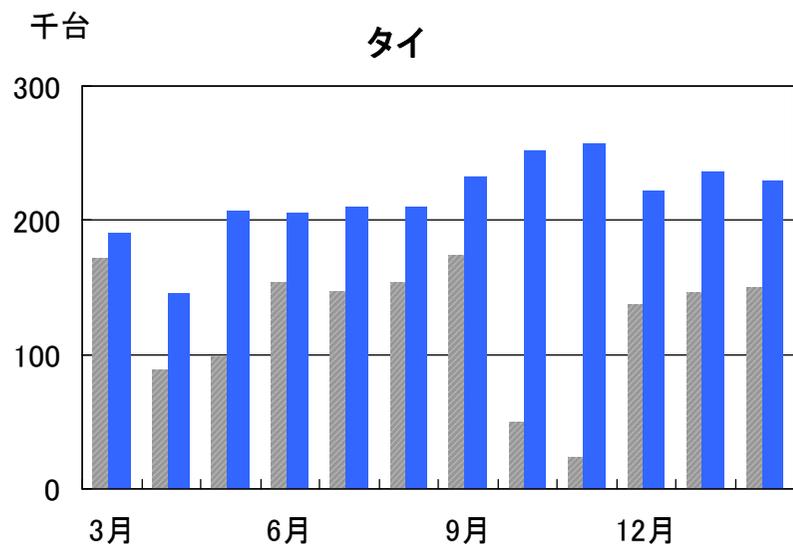
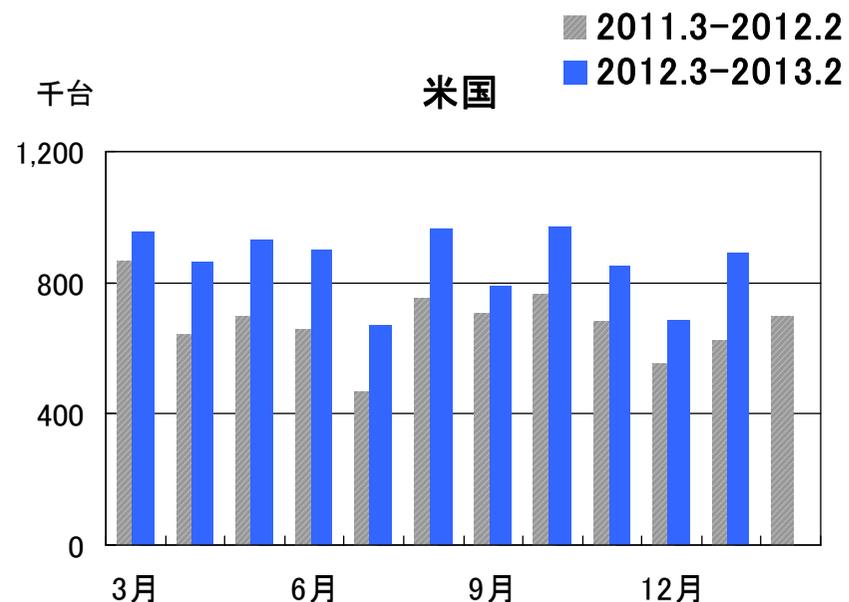
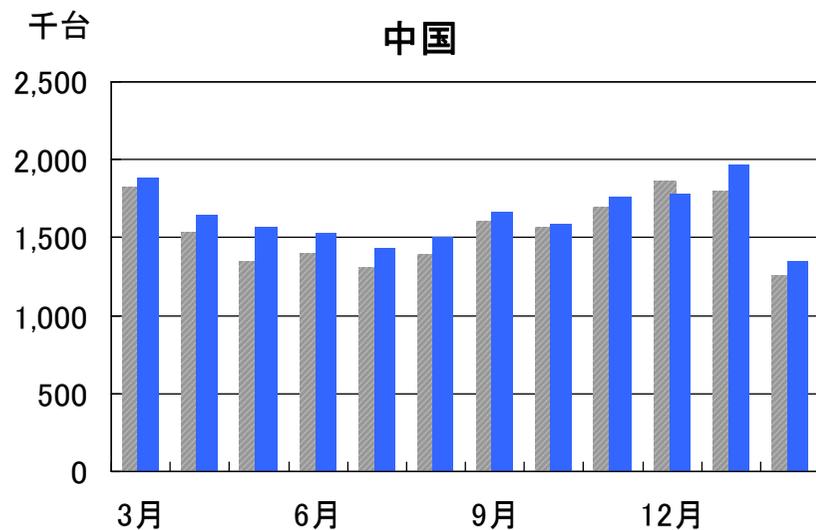
当期の経営環境(1)

(兆円) GDPと国内自動車生産台数の推移

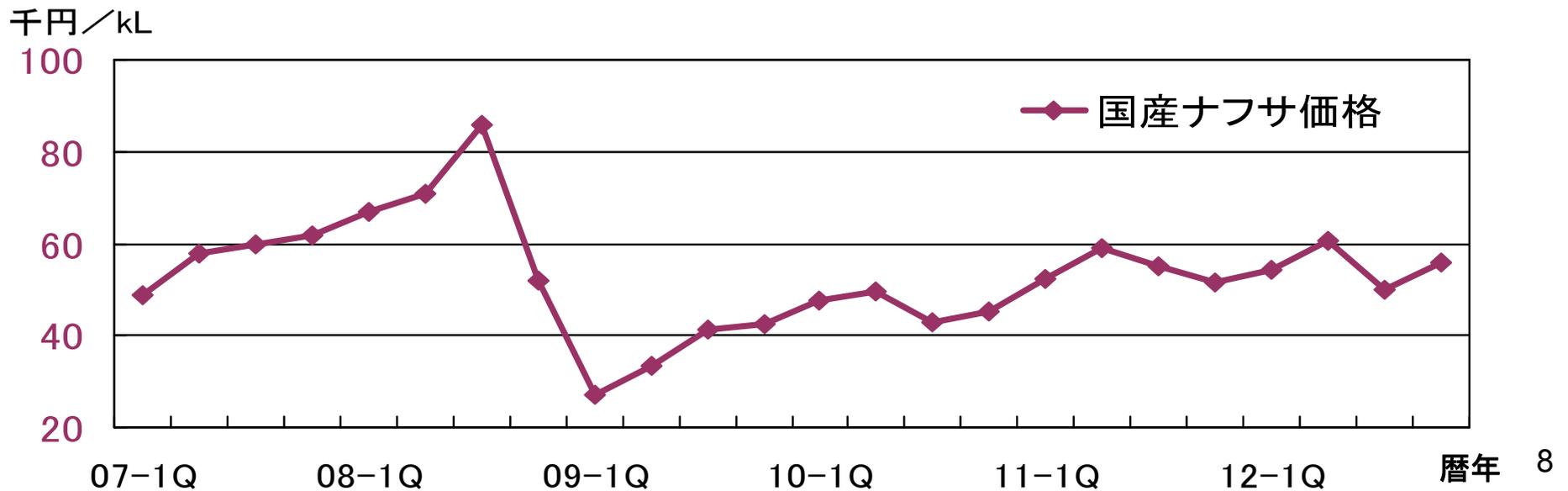
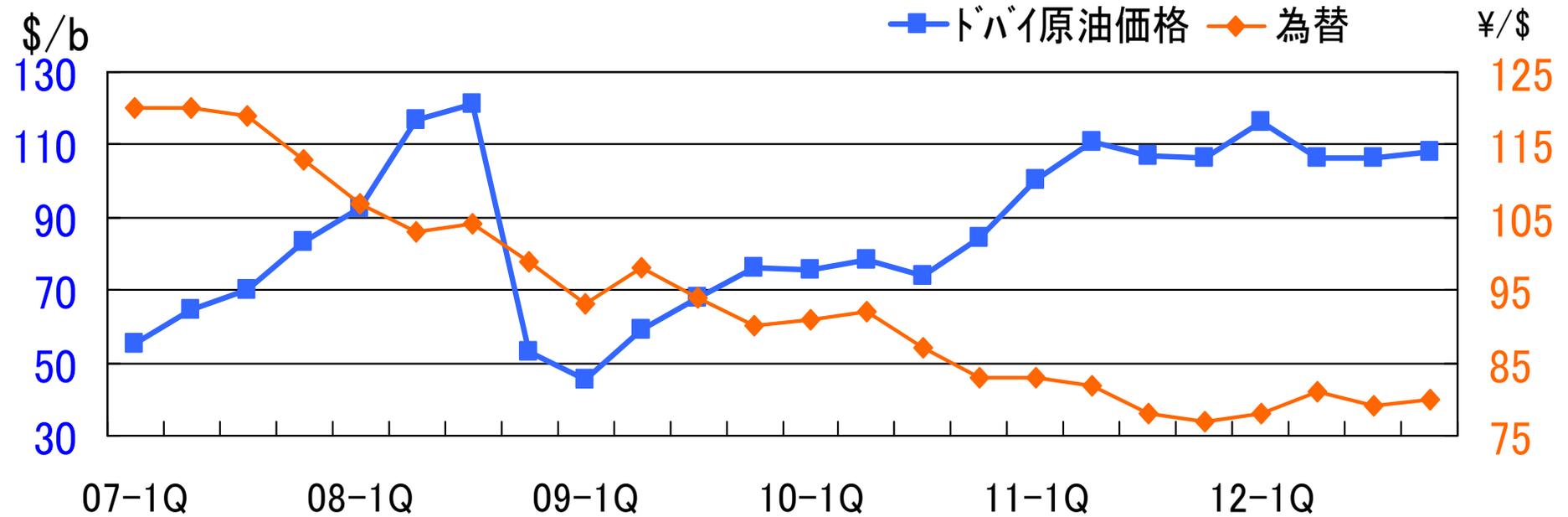


当期の経営環境(2)

海外自動車生産台数の推移



当期の経営環境(3)



決算説明

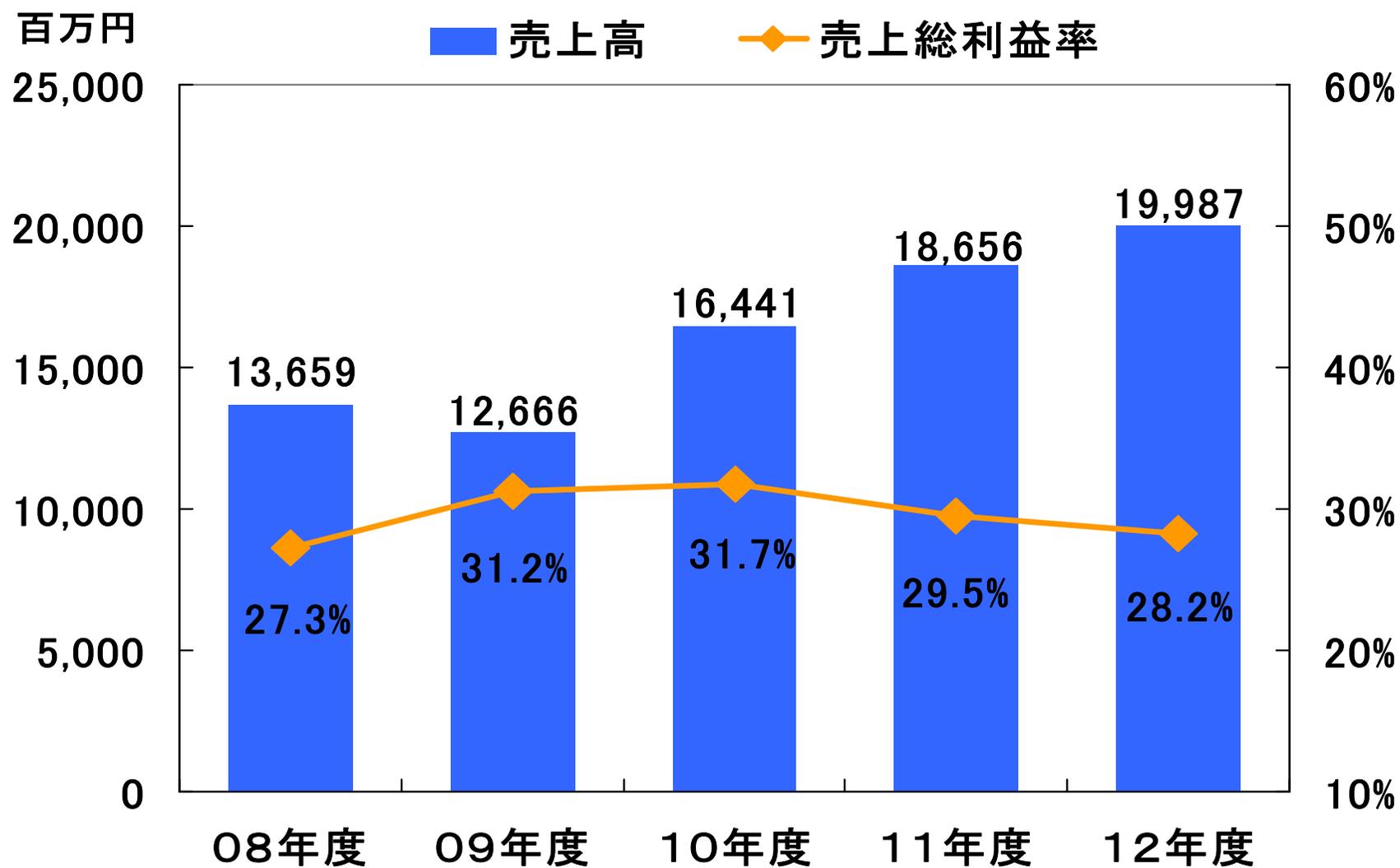
(2013年2月期)

決算概要 連結損益計算書

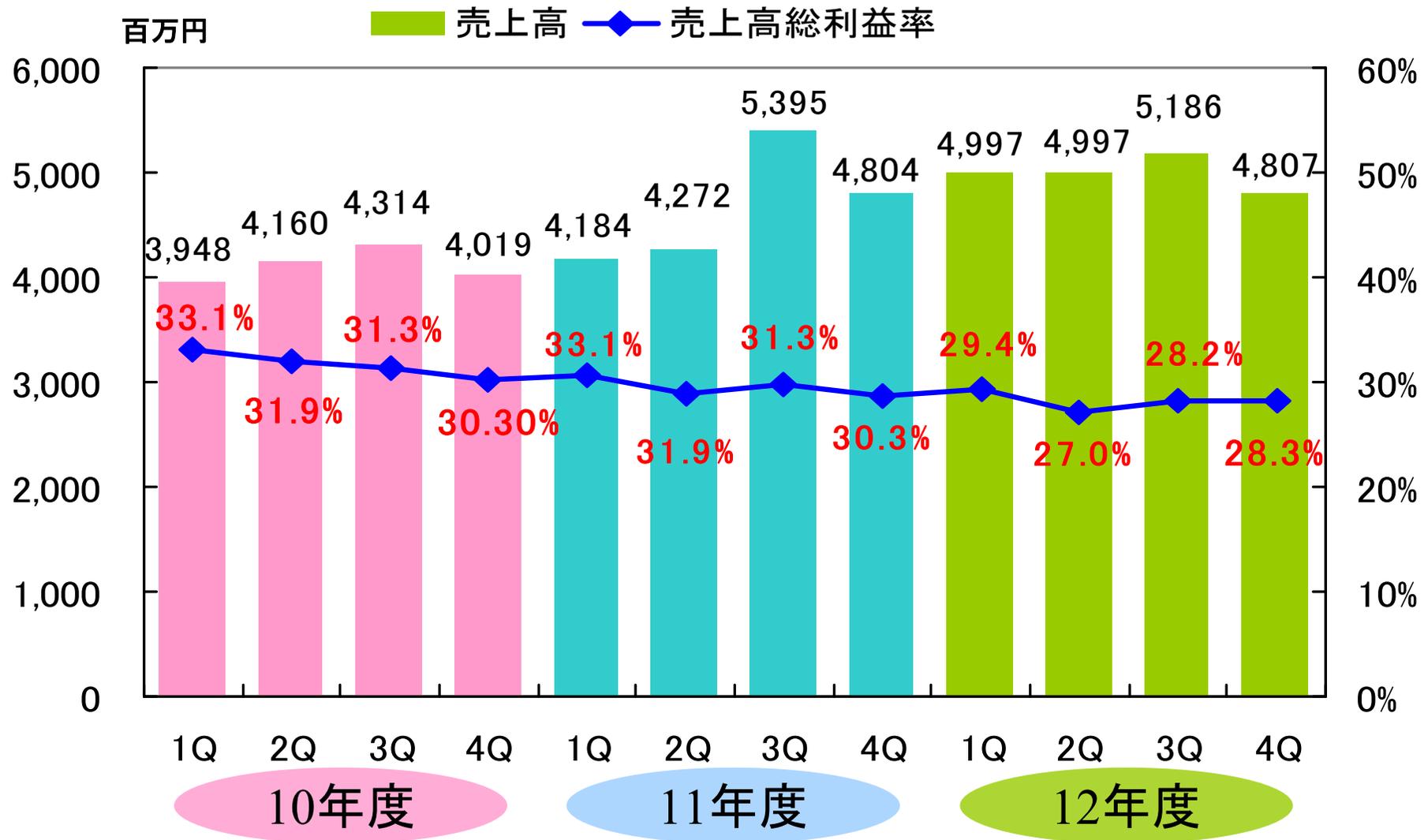
単位：百万円

	12/2期	13/2期	前期比
売上高	18,656	19,987	107%
売上総利益	5,496	5,642	103%
販管費	4,302	4,742	110%
営業利益	1,193	901	75%
営業外損益	110	268	245%
経常利益	1,303	1,169	90%
税引前利益	1,304	1,177	90%
当期純利益	719	662	92%

売上高,総利益率の推移



売上高,総利益率の推移

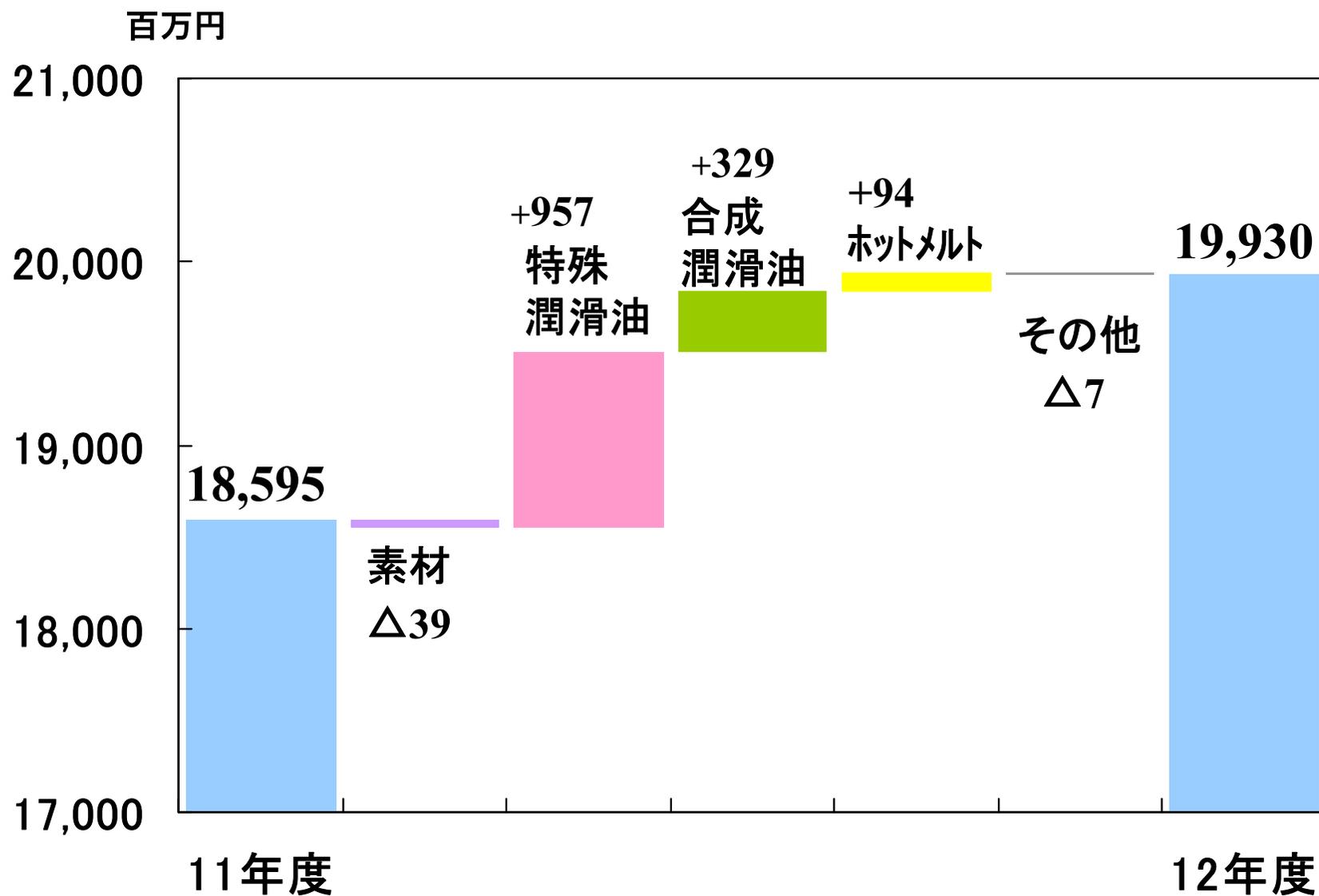


部門別売上高の内訳

単位：百万円

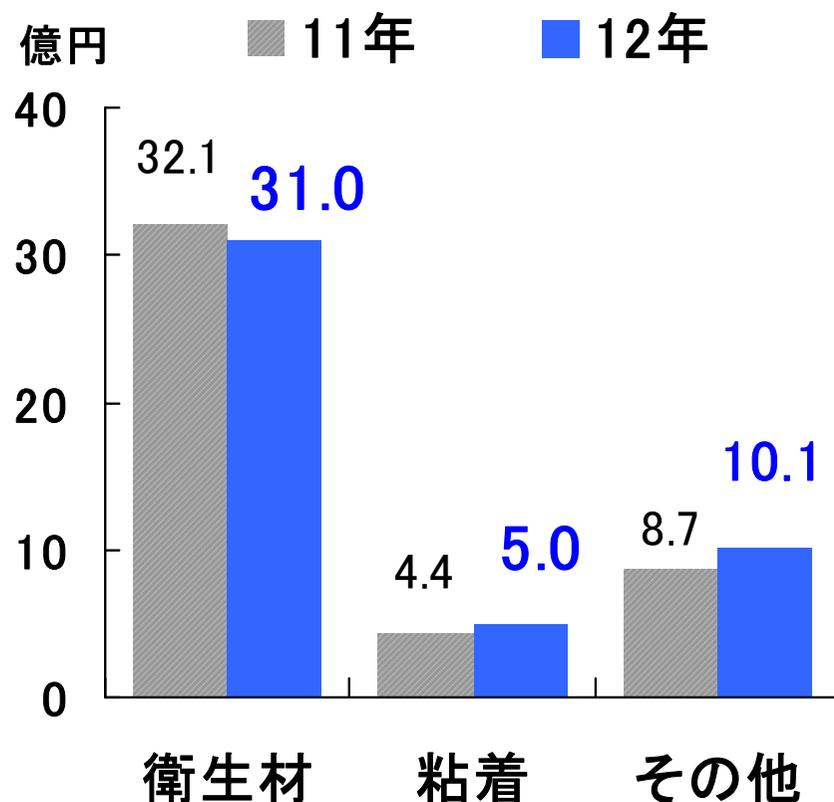
	12/2期	13/2期	前期比
特殊潤滑油部門	8,035	8,993	112%
合成潤滑油部門	1,400	1,729	124%
（うち、HD表面潤滑剤）	（395）	（712）	（180%）
素材部門	3,485	3,446	99%
ホットメルト接着剤部門	4,514	4,608	102%
その他	1,161	1,155	99%
化学品事業計	18,595	19,930	107%
ビル事業	61	56	93%
売上高合計	18,656	19,987	107%

部門別売上高の増減



当期の実績（ホットルト接着剤部門）

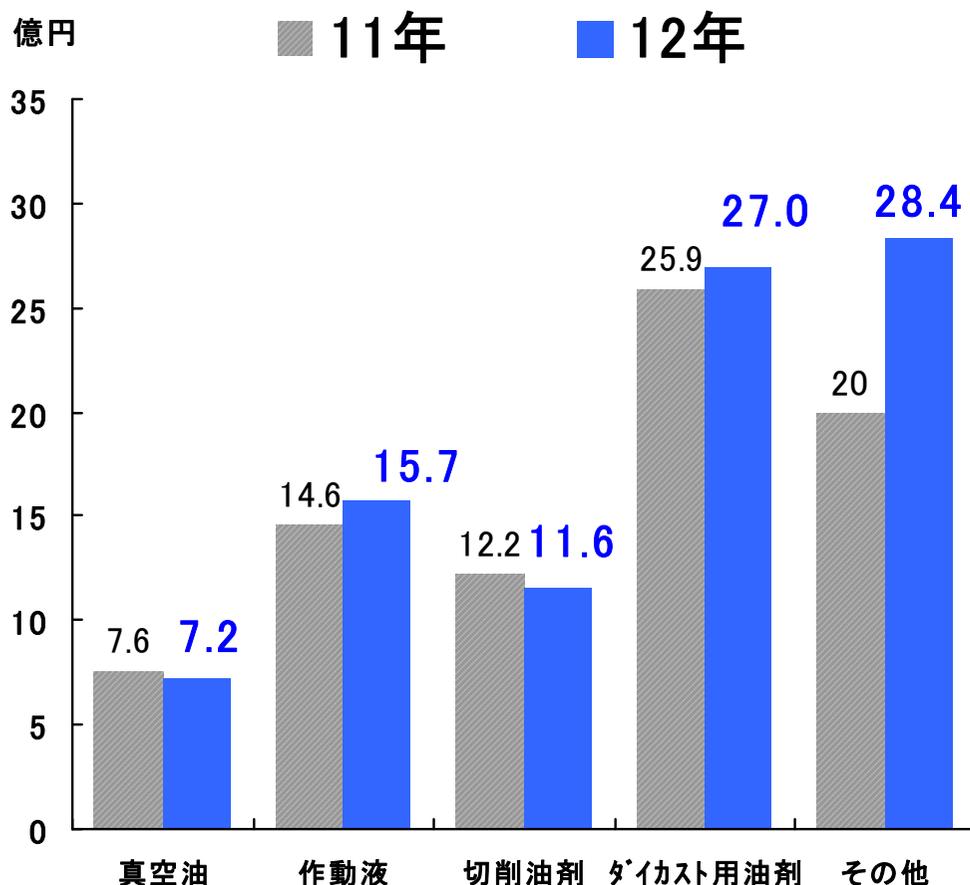
◆部門全体の売上は、前年比2.1%増（4,608百万円）
数量は、0.3%増



- 大人用紙おむつ向け
 - ・震災の影響で売上を伸ばした前年度を下回るものの、高水準を維持
- 粘着分野は堅調に推移
 - ・ビジネスフォーム向けが増加
- 空気清浄機用フィルター接着剤が好調
 - ・PM2.5の影響など

当期の実績（特殊潤滑油部門）

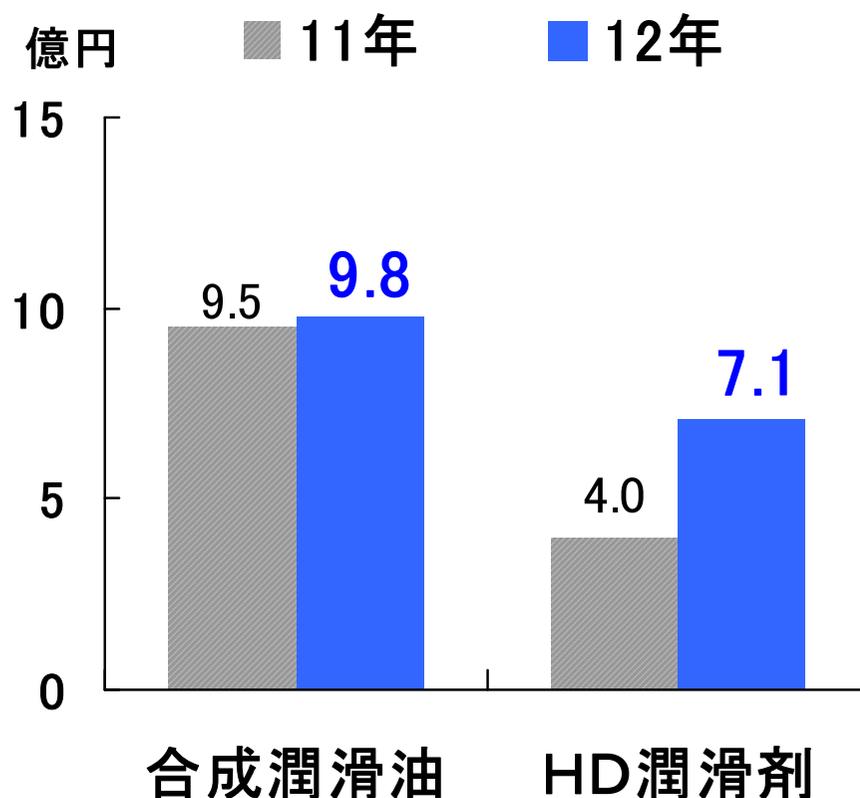
◆部門全体の売上は、前年比11.9%増(8,993百万円)
数量は、12.8%増



- 難燃性作動液
・新製品の拡販等により増加
- アルミ用、マグネシウム用
ダイカスト用油剤
・国内は減少するも、
東南アジアで増加
- その他
・エチレンケミカルの子会社化
により自動車ケミカル製品が
加算

当期の実績（合成潤滑油部門）

◆部門全体の売上は前年比23.5%増（1,729百万円）
数量は、43.4%増（HD潤滑剤）



➤高温用潤滑油

自動車向けグリース用途等

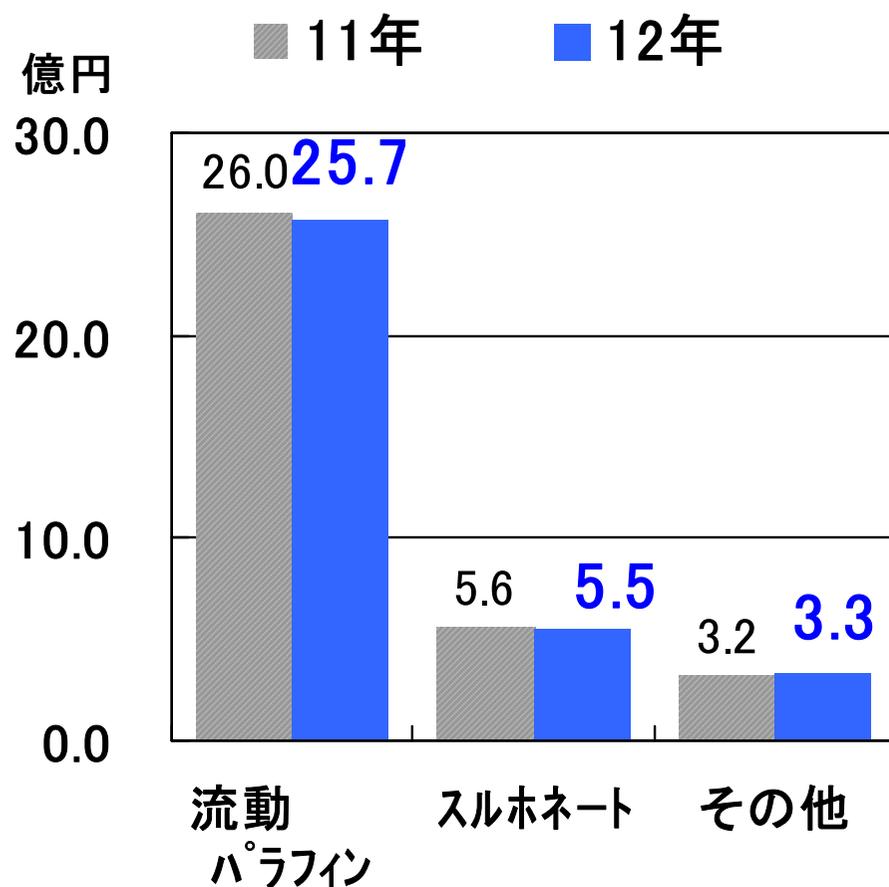
- ・自動車の生産拡大により好調が持続

➤ハードディスク表面潤滑剤

- ・高性能新製品の採用が進み過去最高の売上高

当期の実績（素材部門）

◆部門全体の売上は前年比1.1%減(3,446百万円)
数量は、 2.7%減



➤流動パラフィン

・ポリスチレン樹脂添加剤向け用途が堅調に推移するも、リチウムイオン電池、化粧品向けが伸び悩み

➤スルホネート

・金属加工油の添加剤向けが伸び悩み、前年度並みの実績にとどまる

主要連結対象個別各社の業績

	売上高(百万円)			経常利益(百万円)		
	12年2月期	13年2月期	前期比	12年2月期	13年2月期	前期比
MORESCO	14,693	14,878	101%	903	844	93%
マツケン	658	565	86%	45	24	53%
モレスコテクノ	233	231	99%	39	16	40%
エチレンケミカル	1,502	2,545	169%	148	207	140%
MORESCO(Thailand)	1,195	1,113	93%	88	71	81%
無錫松村貿易	786	869	111%	59	67	114%
莫莱斯柯花野(上海)	708	711	100%	81	61	75%
MORESCO USA	151	192	127%	△18	△20	—
無錫徳松科技	1,431	1,481	103%	62	66	107%

(注) 海外グループ会社は12月期決算、エチレンケミカルは3月期決算(11年9月より連結) 19

新製品売上高

単位：百万円

	12/2期	13/2期	前期比
新製品売上高	2,328	2,627	113%
新製品売上高寄与度	12.5%	13.1%	

売上に貢献した新製品

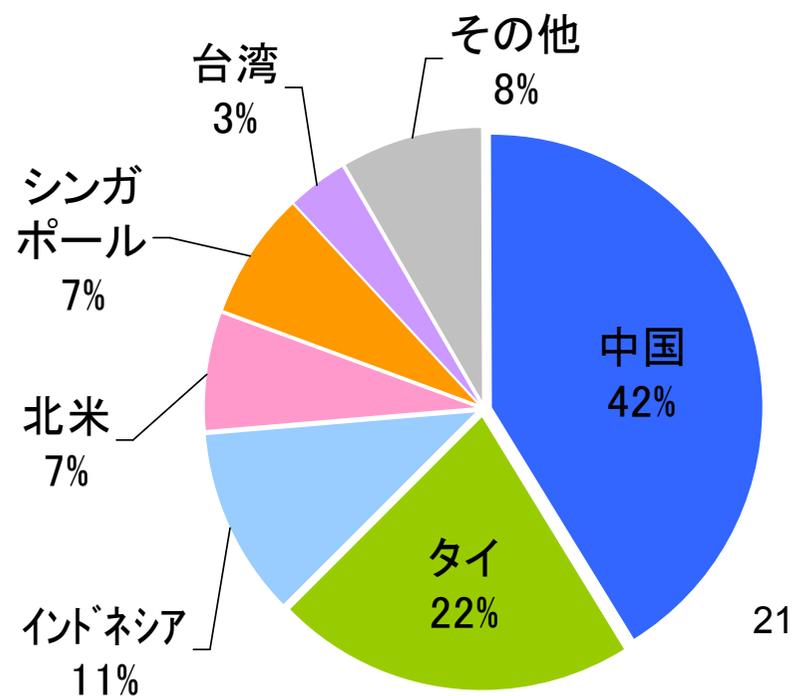
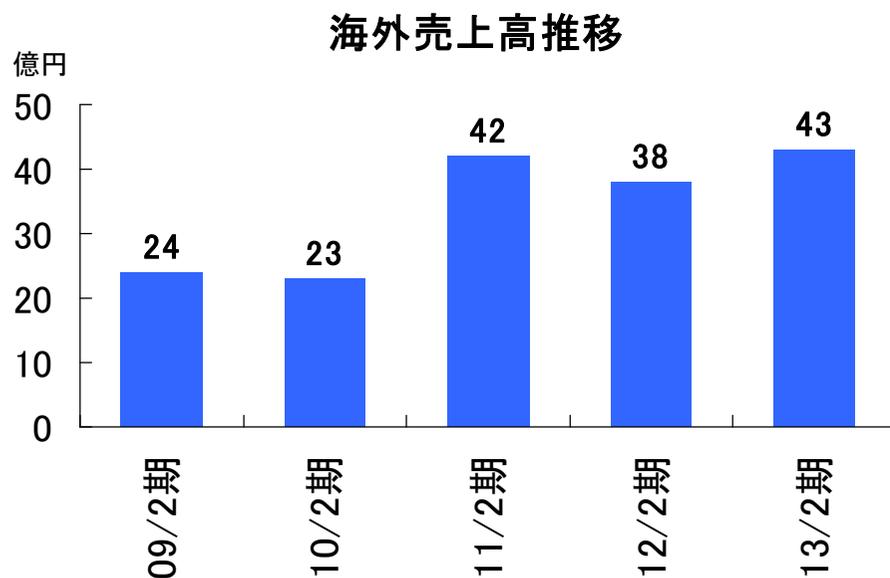
- ・合成潤滑油 (ハードディスク表面潤滑剤)
- ・難燃性作動液 (潤滑・耐熱・耐酸化安定性向上タイプ)
- ・ダイカスト用離型剤 (少量塗布・高温付着開発品)
- ・切削油剤 (アルカリ電解水用加工液)
- ・ホットメルト接着剤 (子供用紙おもつ組立用、自動車内装向け反応型)

海外売上高

単位：百万円

	12/2期	13/2期	前期比
海外売上高	3,806	4,318	113%
海外売上高比率	20.4%	21.6%	

13/2期 国別売上高比率



販売費・一般管理費

単位：百万円

	12/2期	13/2期	増減	前期比
販売費・一般管理費	4,302	4,742	+439	110%
うち、研究開発費	920	986	+66	107%
売上高販管費比率	23.1%	23.7%		
売上高研究開発費比率	4.9%	4.9%		

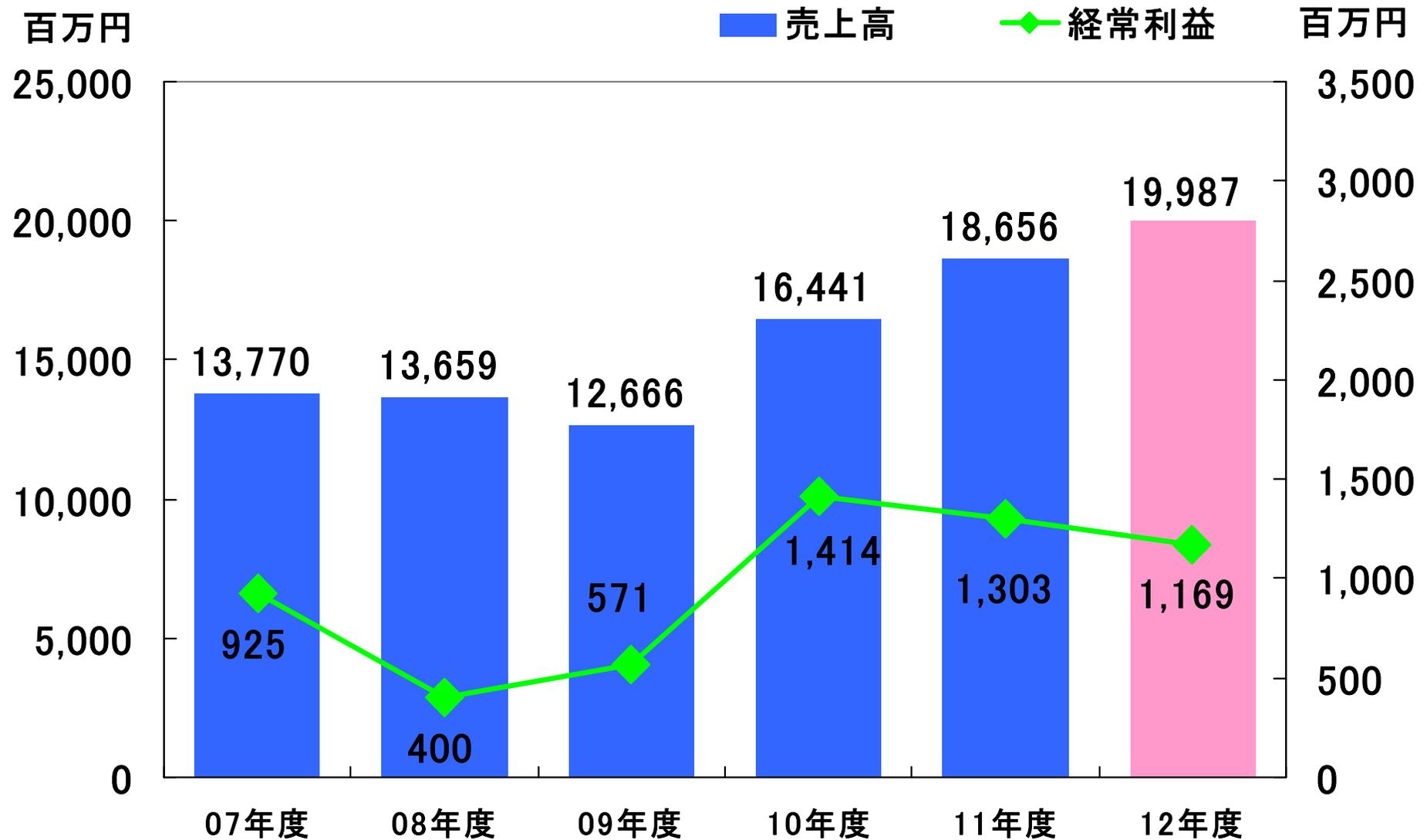
<経費の増加要因>

- ・エチレンケミカル連結子会社化
MORESCO INDONESIA、
MORESCO MACRO ADHESIVE設立の影響
- ・償却費の増加(パイロットプラント等)
- ・コンピュータシステム再構築

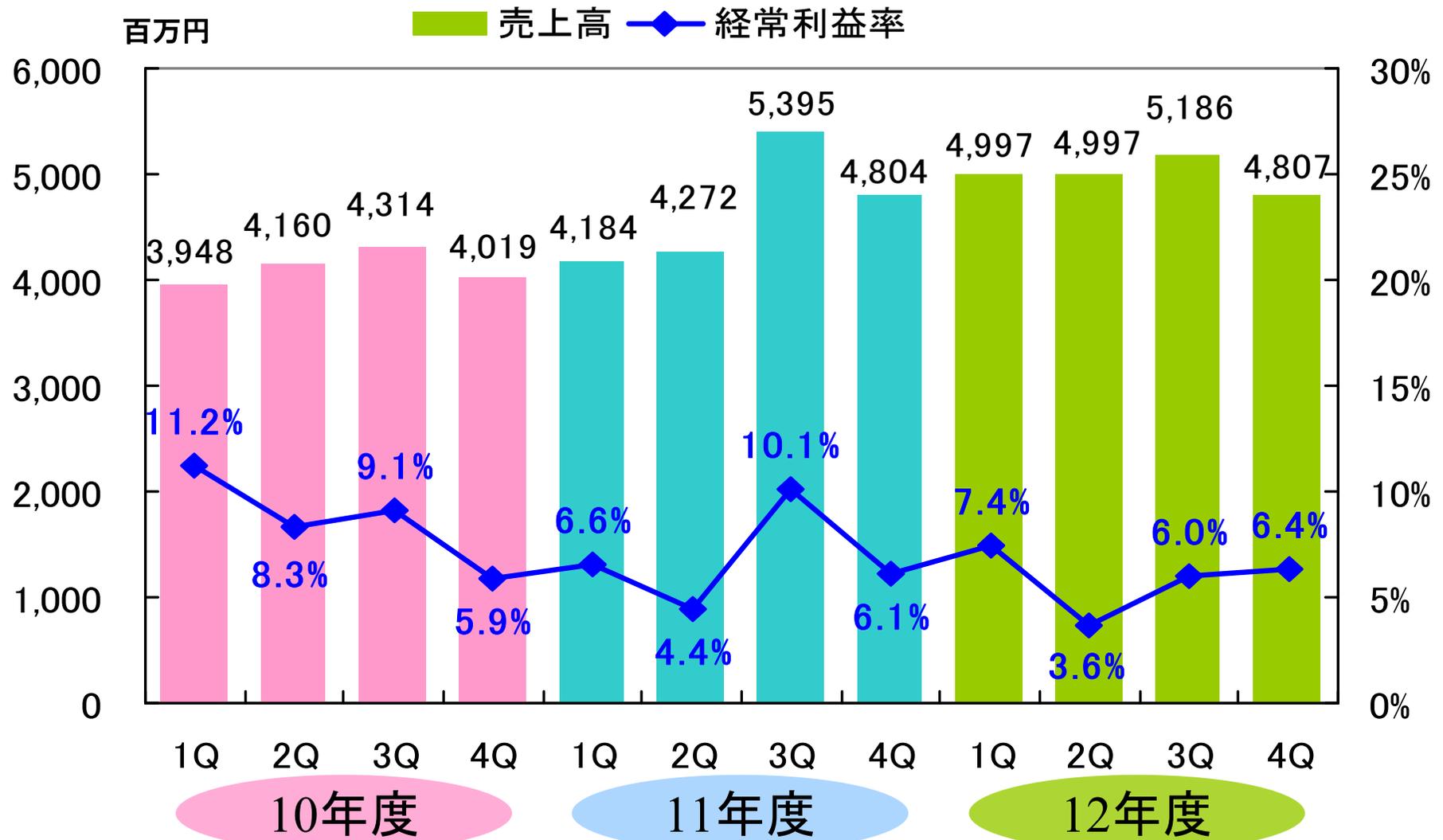
営業外損益の内訳

単位:百万円	12/2期	13/2期	増減
持分法投資損益	65	125	60
純金融損益	△5	△4	1
為替差損益	△6	84	90
その他	56	64	8
合計	110	268	159

連結 売上高と経常利益の推移



売上高, 経常利益率の推移



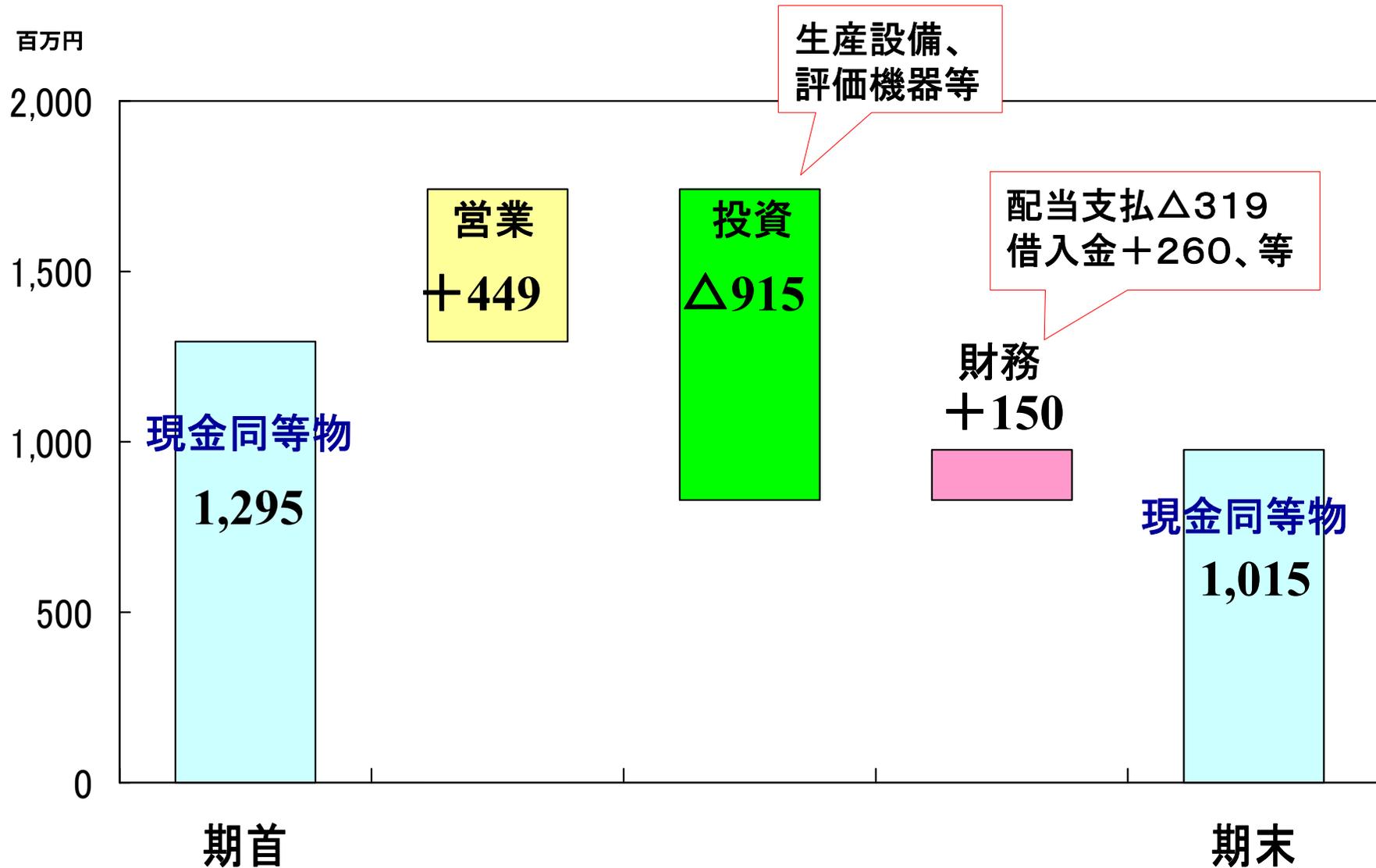
決算概要

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	13/2期	増減	科目	13/2期	増減
現預金	1,259	△136	仕入債務	3,559	△279
売上債権	4,654	138	有利子負債	1,848	260
たな卸資産	2,814	212	その他流動負債	1,023	△279
その他	330	20	その他固定負債	616	△194
流動資産計	9,056	232	負債合計	7,064	△493
有形固定資産	4,837	156	資本金・資本剰余金	2,912	±0
無形固定資産	584	38	利益剰余金	4,706	342
投資その他	1,054	△35	自己株式	△0	△0
固定資産計	6,475	160	その他包括利益累計額	51	199
			自己資本合計	7,669	541
			少数株主持分	816	344
資産計	15,532	392	負債・資本計	15,532	392

キャッシュフロー計算書



営業活動によるキャッシュフロー

単位: 百万円、ヵ月

項目	12/2期	回 転 期 間	13/2期	回 転 期 間
税引前当期利益	1,304		1,176	
減価償却費	606		626	
(小計)	(1,910)		(1,802)	
売上債権の増減(△は増加)	△161	2.7	△56	2.8
仕入債務の増減(△は減少)	103	3.1	△319	3.1
たな卸資産の増減(△は増加)	△307	1.5	△155	1.6
その他	△327		△409	
法人税等の支払	△314		△414	
営業活動によるキャッシュフロー	904		449	

設備投資・減価償却費

単位：百万円

	12年期初	12年期末	増減
有形・無形固定資産計	5,227	5,421	194

	12/2期	13/2期	増減
設備投資額（合計）	633	789	+156
（株）MORESCO	327	505	+178
（うち、研究開発投資額）	（77）	（163）	（+86）
モレスコインドネシア他	306	283	△23

減価償却費※1	600	620	+20
---------	-----	-----	-----

※1（株）花野のれん代償却を含む

有利子負債

単位：百万円

	12年期初	12年期末	増減
短期借入金 (1年以内)	990	1,460	+470
長期借入金	598	388	△210
合計	1,589	1,848	+260
借入金依存度	10.5%	11.9%	

(注) 借入金依存度 = 有利子負債 / 総資産 (%)

自己資本の変化

単位:百万円

	12/2期	13/2期	増減
資本金	1,526	1,526	—
資本剰余金	1,386	1,386	—
利益剰余金	4,364	4,706	+342
自己株式	△0	△0	△0
その他包括利益 累計額	△148	51	+199
合計	7,128	7,669	+541
自己資本比率	47.1%	49.4%	

決算概要 経営指標

	12/2期	13/2期
1株当たり		
当期純利益	84.42円	77.68円
自己資本	836.86円	900.41円
自己資本利益率(ROE)	10.4%	8.9%
総資本経常利益率(ROA)	9.3%	7.6%
売上高経常利益率	7.0%	5.8%
(参考)期末株主数	2,582名	2,596名

13/2期の配当について

	12/2期	13/2期
連結当期純利益	719百万円	662百万円
配当額	213百万円	213百万円
1株当たり配当金	25円	25円
配当性向 ^(注)	29.6%	32.2%

(注)配当性向 = 1株当たり配当金 / 1株当たり当期純利益 (%)

中期経営計画の概要

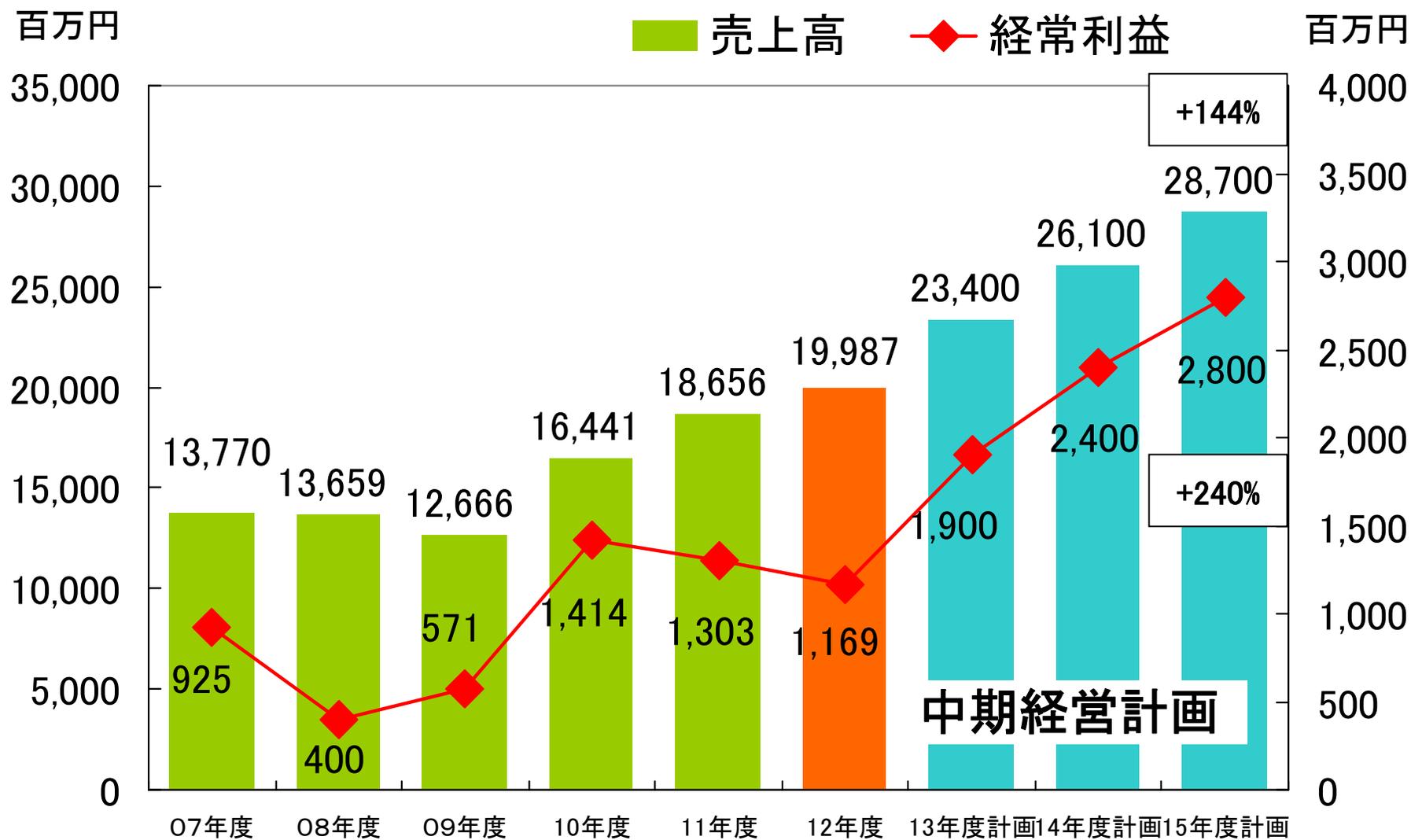
(2014年2月期～2016年2月期)

中期利益計画（連結）

単位：百万円

	13/2期	14/2期	15/2期	16/2期
売上高	19,987	23,400	26,100	28,700
営業利益	901	1,700	2,100	2,500
経常利益	1,169	1,900	2,400	2,800
当期純利益	662	1,000	1,300	1,500
経常利益率	5.8%	8.1%	9.2%	9.8%

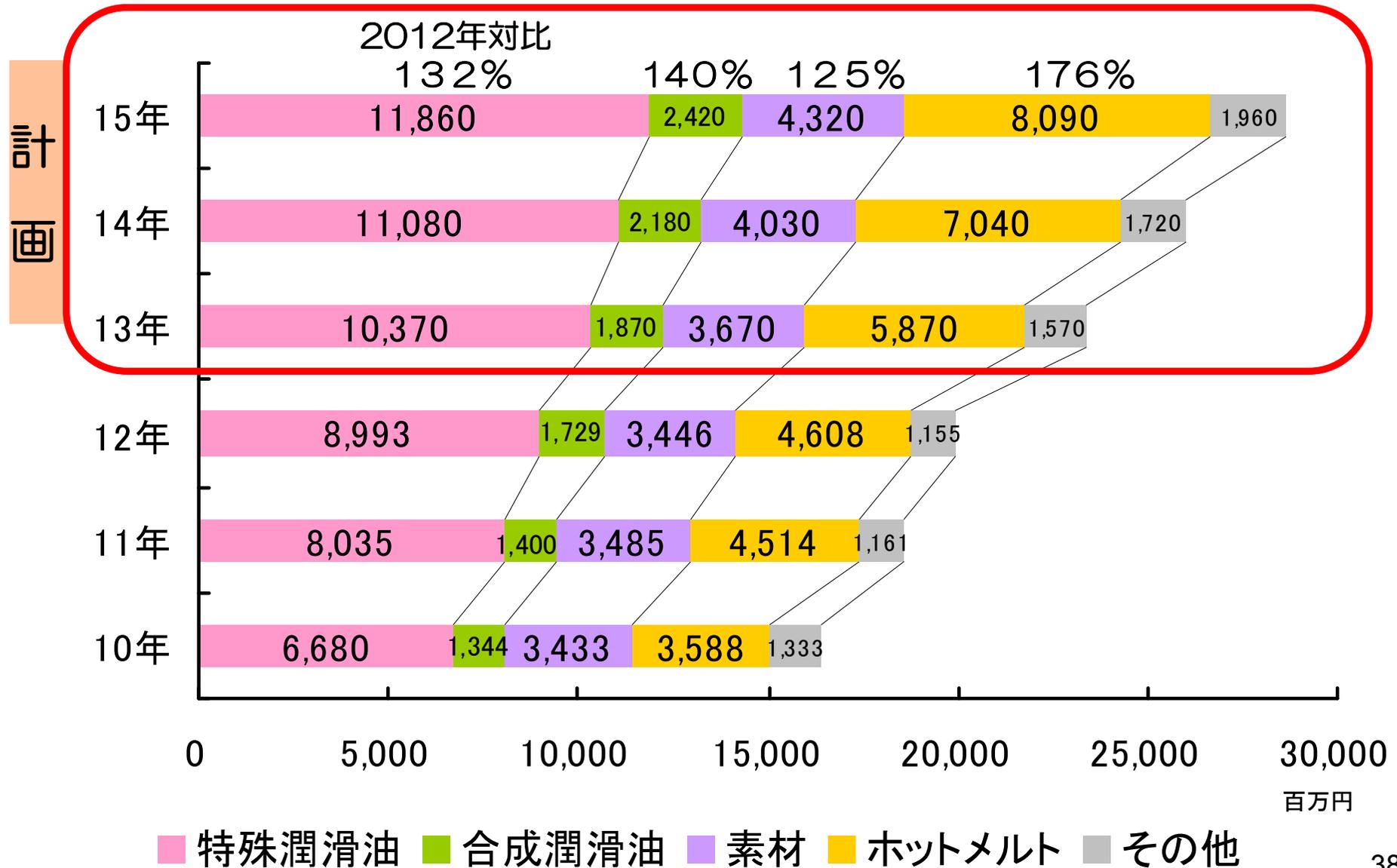
中期経営計画（2013~15年度） 2013/2/22発表



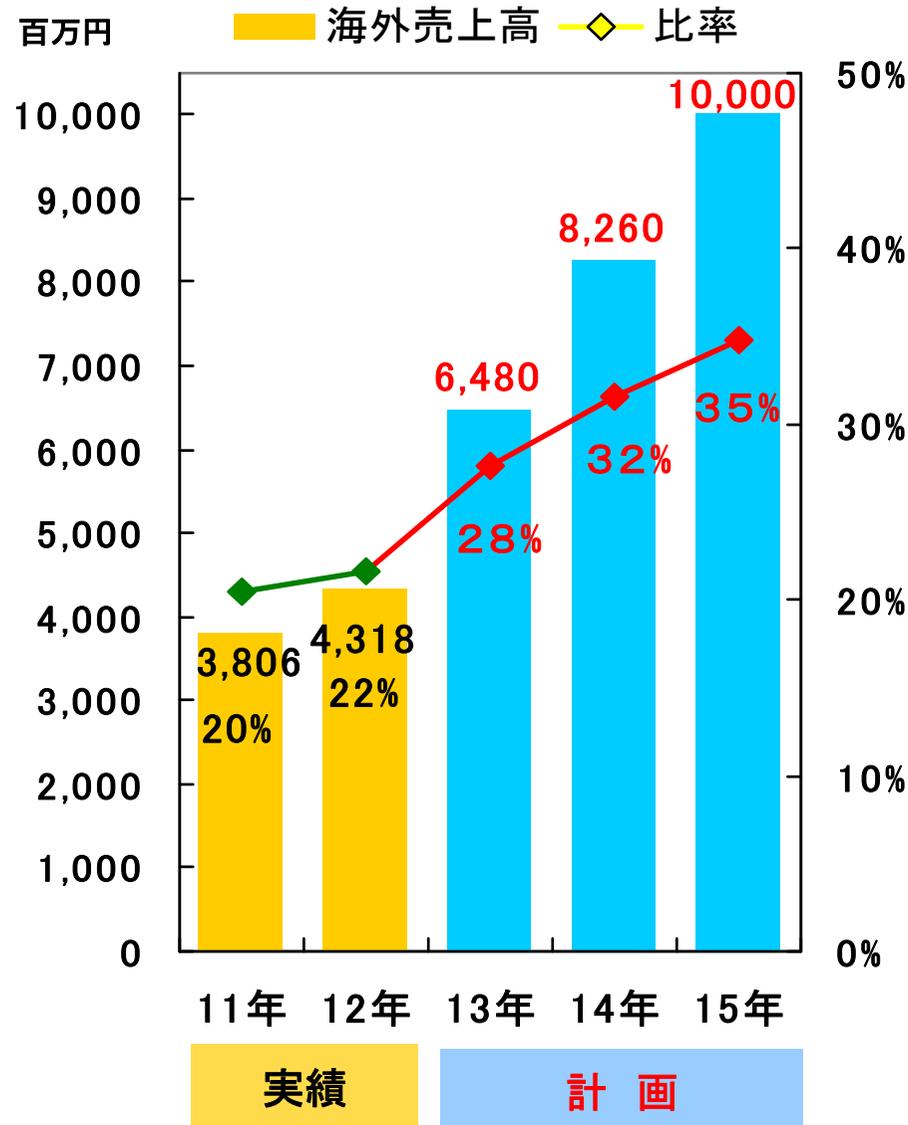
中期経営計画のポイント

- 現地ニーズに密着した、ダイカスト用油剤、切削油剤のグローバル展開
- 東南アジアでの紙おむつ用接着剤の拡販
- 新潤滑剤によるハードディスク表面潤滑剤の更なるシェアアップ
- 流動パラフィン、合成潤滑油の海外展開

中期計画 部門別売上高の推移（連結）



海外展開



■ グローバルな事業基盤の整備

- ・ 中国、タイ、インドネシア、ベトナムへの重点的取組み
- ・ メキシコ・ブラジルも展望

■ 中国・タイでの研究開発の充実

■ インドネシア現地法人2社の需要が拡大

- ・ 人口増加と所得の伸びにより紙おむつの使用量が急増
- ・ インドネシア自動車市場も拡大

■ 原材料の世界調達

新製品開発の3つの分野

1. 環境関連分野

- 自動車用潤滑剤
- 耐熱性ホットメルト接着剤



3. エネルギーデバイス分野

- バリア性封止材料



2. 情報関連分野

- ハードディスク表面潤滑剤
- HD軸受用潤滑油
- LiB生産用流動パラフィン



MORESCOの新製品開発

ハードディスク
表面潤滑剤

合成潤滑油

ダイカスト用
離型剤

水溶性切削油

難燃性作動油

ホットメルト
接着剤

有機デバイス用
材料・装置

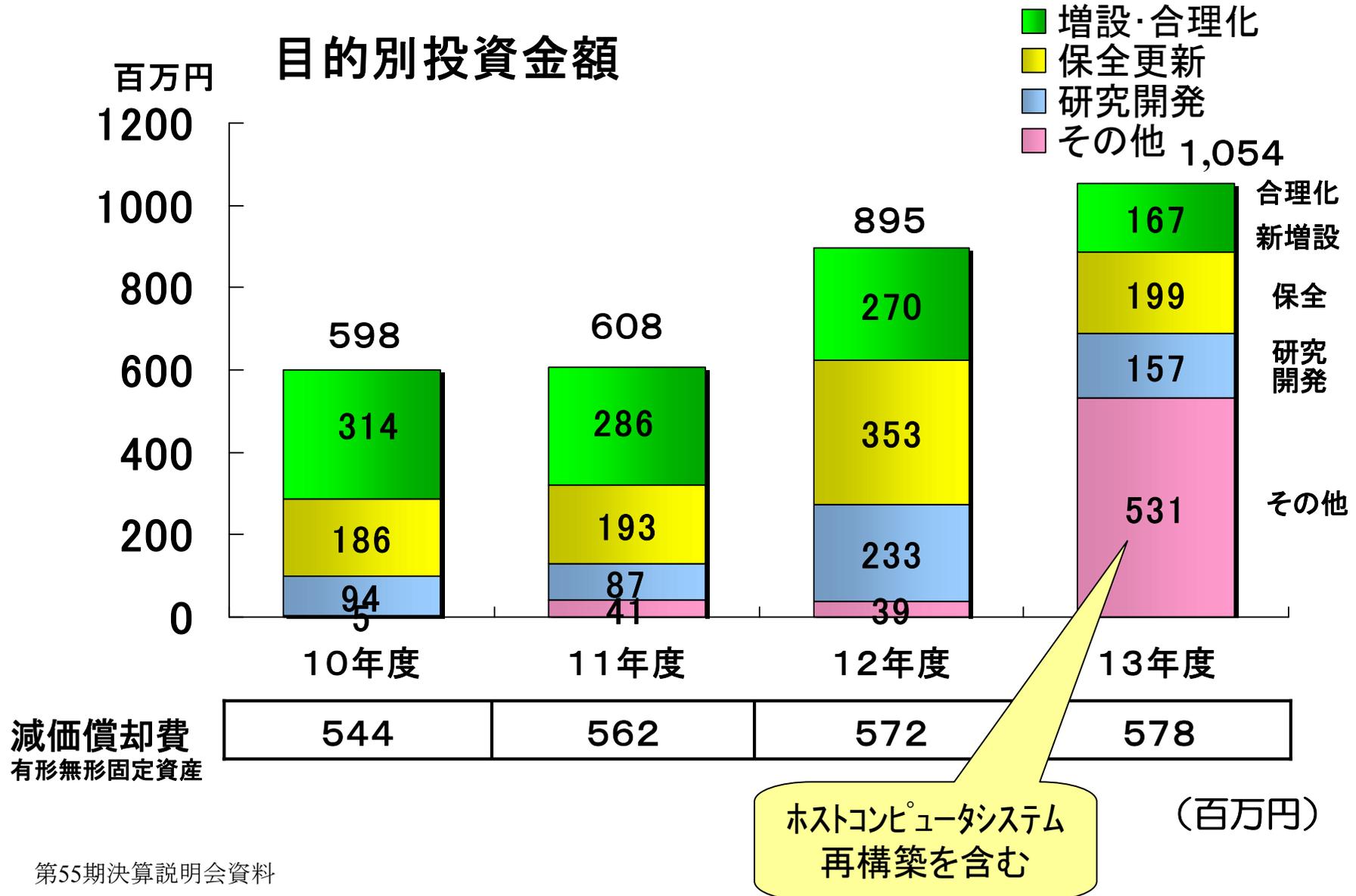
- ・ 高信頼性サーバー向けHD潤滑剤を上市
- ・ 次世代記録方式用新製品の開発
- ・ HDD動圧軸受油の開発

- ・ 少量塗布型離型剤(アルミ用)「GL-6000」を上市
- ・ グラフェースの技術導入による新離型剤開発
- ・ アルカリ電解水用添加剤「ウォーターRⅡ」を上市
- ・ 難切削材用(チタ、インコルなど)の開発(航空機用)
- ・ インパクト成型用潤滑剤の開発(車載用Li電池ケース)

- ・ 子供用紙おむつ向けホットメルトを上市
- ・ 反応型ホットメルトの耐熱性の向上

- ・ 有機デバイス用封止材料を上市
(モイスチャーカット シリーズ)
- ・ バリアフィルム用水分透過率測定装置の高感度化

設備投資計画



当期(2014/2月期)計画概要

1 4/2期連結業績予想

単位：百万円

	13/2期 実績	14/2期 予想	前期比
売上高	19,987	23,400	117%
売上総利益	5,642	7,000	124%
販管費	4,742	5,300	112%
営業利益	901	1,700	189%
経常利益	1,169	1,900	163%
当期純利益	662	1,000	151%

1 4/2期連結業績予想（上・下期別）

単位：百万円

	1 4/2上期	前年 同期比	1 4/2下期	前年 同期比
売上高	11,100	111%	12,300	123%
営業利益	720	150%	980	204%
経常利益	800	145%	1,100	200%
当期純利益	410	130%	590	187%

売上高予想

単位：百万円

	13/2期	14/2期	前期比
特殊潤滑油部門	8,993	10,370	115%
合成潤滑油部門	1,729	1,870	108%
素材部門	3,446	3,670	107%
ホットメルト接着剤部門	4,608	5,870	127%
その他	1,155	1,570	136%
合計	19,930	23,350	117%
ビル事業	56	50	△89%
合計	19,987	23,400	117%

当期部門別事業概況

特殊潤滑油部門 (前年比**15%増**)

- 中国、東南アジアでの積極販売
- ダイカスト用油剤、切削油に重点をおき、製品開発とシェア拡大

素材部門 (前年比**7%増**)

- 流動パラフィンは海外でのリチウムイオン電池膜生産用の拡販
- 既存用途以外の新用途開発の加速

合成潤滑油部門 (前年比**8%増**)

- グリース用基油の中国市場の開拓
- 食品、建材用途の海外展開
- HD表面潤滑剤は、新潤滑剤の投入による継続的な新機種への認定と更なるシェアアップ

ホットメルト接着剤部門 (前年比**27%増**)

- 紙おむつ用のインドネシアでの需要対応
- ビジネスフォーム向けの開発と売上拡大

14/2期の配当について

	13/2期	14/2期予想
連結当期純利益	662百万円	1,000百万円
配当額	213百万円	256百万円
一株当り配当金	25円	※1 30円
配当性向	32.2%	25.6%

※1 当社創立55周年(平成25年10月27日)を迎えます。
14/2期につきましては、一株当たり30円(記念配当5円)配当を実施させていただきます。

中間配当を実施 第2四半期末 12.5円、期末 17.5円

配当性向 = 1株当たり配当金 / 1株当たり当期純利益 (%)

対処すべき課題

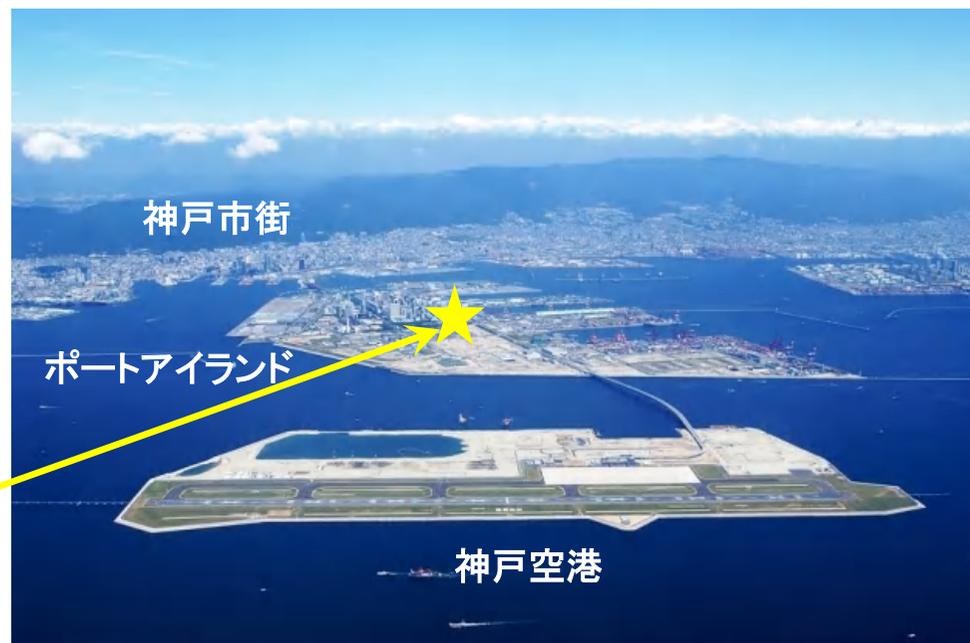
1. 日本経済、海外経済は緩やかな回復基調

- (1) 「アベノミクス」による景気回復への期待感
- (2) 東南アジア等の新興国を中心に成長が持続
- (3) 海外経済の持ち直しと円安を背景に輸出は増加の見通し

2. 当社の対応

- (1) 国内外向け自動車関連製品の開発強化
- (2) 海外成長市場の開拓
 - ・ 中国、東南アジアへの展開を更に強化
 - ダイカスト用離型剤、子供用紙おむつ向け接着剤
 - 現地法人の営業力強化
- (3) 高付加価値新製品開発による利益体質の強化

本社・研究センター



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。

株式会社 **MORESCO**

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058(広報室)

130415

50